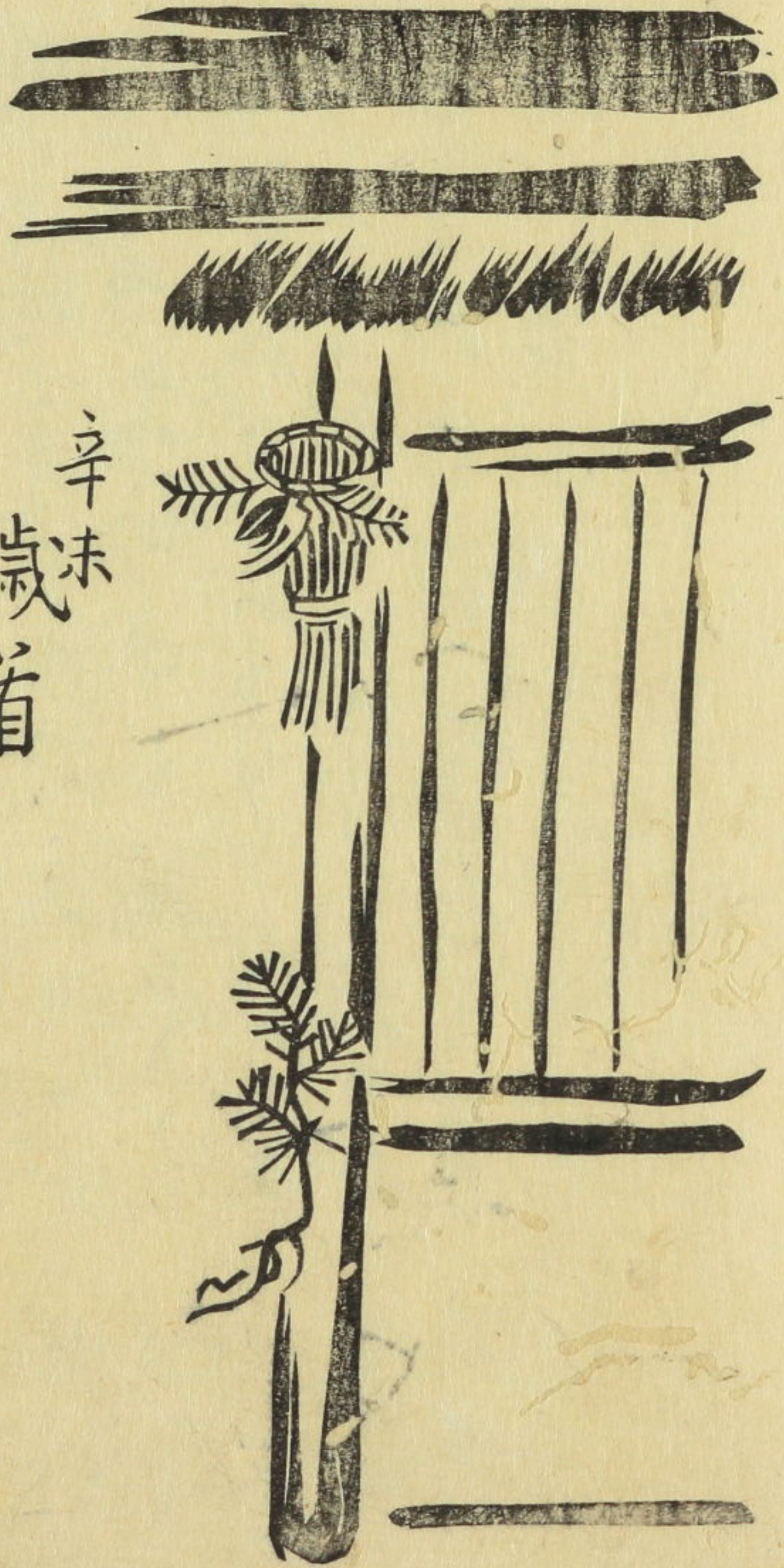




宇良志呂會





辛未
歳首

丹亀山

此乃其静ふ茶多し初日か
 柴一石何う川にて父那の西去か
 木よりせすにぬきり四方は去
 洗ひ上て船積てあり流の去

野楊
 ト之
 養石
 志白

人ハ川東向多ク其の美 凌雨

眼乃是と心りらけりと影の夫 有麟

家内限客乃中ありきさ其夫 老社

初日の虫大ま風やうに思多 田舎軒

暖も梅よりそ風乃立日うか 且川

大福や先何ゆも掛み多り 湖潜

字子戸やかさふもたぐぬの夫 桂枝

此上もふきつたりと朝の老 車輪

意方初初横そのかそ多 湖嵐

。 湖嵐

あうけて袂うけぬや店初るき 貴泉

其末の亦も毒の正代そかさ 益華

元日や松さうう記多士 山 珊水

元日や並れて流の丸うけ 素光

虫初る視乃ふや福毒海 含雪

峯乃松門へ影さる 神日が 吐玉

雞旦

徳入不きめてき 門の松 鶴友

惠方け梅又風ふ 火 人

人乃気も山乃雨あも長床日 人

曇る葉て木におうらう傍^{ホッ}其曉

鬼うらゝい多くく展^{ホッ}蘇の杯

依保^{ホッ}婚のぬ山は猶や殊ぬらん

頁三

羨る鳥能片云おうらう中^{ホッ}以梨、素光

山乃^{ホッ}厥面^{ホッ}越えする雪解

楓^{ホッ}枯^{ホッ}留^{ホッ}ち^{ホッ}居^{ホッ}の^{ホッ}人^{ホッ}の^{ホッ}園^{ホッ}小^{ホッ}て

元旦

抱てある子も云する^{ホッ}流^{ホッ}茶^{ホッ}ま^{ホッ}か^{ホッ}掬水

元日^{ホッ}の^{ホッ}松^{ホッ}吹^{ホッ}し^{ホッ}も^{ホッ}十^{ホッ}六^{ホッ}乃^{ホッ}去^{ホッ}文鳳

大切^{ホッ}の^{ホッ}物^{ホッ}も^{ホッ}云^{ホッ}お^{ホッ}り^{ホッ}と^{ホッ}能^{ホッ}の^{ホッ}在^{ホッ}花文

暖う成^{ホッ}ち^{ホッ}免^{ホッ}え^{ホッ}展^{ホッ}蘇^{ホッ}の^{ホッ}海^{ホッ}仙風

地の^{ホッ}十^{ホッ}六^{ホッ}も^{ホッ}又^{ホッ}一^{ホッ}初^{ホッ}る^{ホッ}ゆ^{ホッ}り^{ホッ}福^{ホッ}壽^{ホッ}学^{ホッ}如良

十去真

花^{ホッ}小^{ホッ}あ^{ホッ}る^{ホッ}人^{ホッ}を^{ホッ}見^{ホッ}て^{ホッ}あ^{ホッ}る^{ホッ}山^{ホッ}家^{ホッ}う^{ホッ}か^{ホッ}ト云

土^{ホッ}葦^{ホッ}寺^{ホッ}小^{ホッ}滑^{ホッ}き^{ホッ}る^{ホッ}を^{ホッ}多^{ホッ}け^{ホッ}り^{ホッ}凌雨

梅^{ホッ}う^{ホッ}花^{ホッ}乃^{ホッ}木^{ホッ}庵^{ホッ}き^{ホッ}し^{ホッ}日^{ホッ}より^{ホッ}が^{ホッ}葺石

楊^{ホッ}子^{ホッ}や^{ホッ}色^{ホッ}一^{ホッ}途^{ホッ}入^{ホッ}の^{ホッ}小^{ホッ}日^{ホッ}の^{ホッ}書^{ホッ}未白

百姓のまはるくくとまを
畑赤れりよりえてり野つら
早ハ早樹ハ樹とありぬまの鳥
小杉野や雨あ梢も膝きりふ
百姓の弓かたけありま乃雨
字描乃つんてハ侍さふ尋り
貴身乃亭舎とあり内とあり

老電藤
回窓軒
右藤
且川
湖潜
桂枝
車輪
貴泉
無華

出し初の牛故なり野梅
七字の井といふは一日の夕

珊瑚水
一曉
具曉
含雪
吐玉

むく起不常ゆやわ
古原や畑えてある親雉子
疾駒乃負れま戻る日丸が
野ハ人出さるる江を揚の
尾を二垂て土子雨の雉子が

掬水
文
左文
仙風
如

朝露一と形くれとありては去れは 不潔

宝引や多小毛此生と下ア迄 枕源
春乃川ワれて水乃流々々 牧牛

立春

皆立て北ノ花咲日ナリガ 孙蓮

十女真

此良山ノ夕多ハカクし去乃雪 江戸 田九翁
踏白のす石垣畑やサ路此草屋 全

い川来て七上る是は竹板の梅 未白



生柴を
山やと
積て
去の雨

未
白



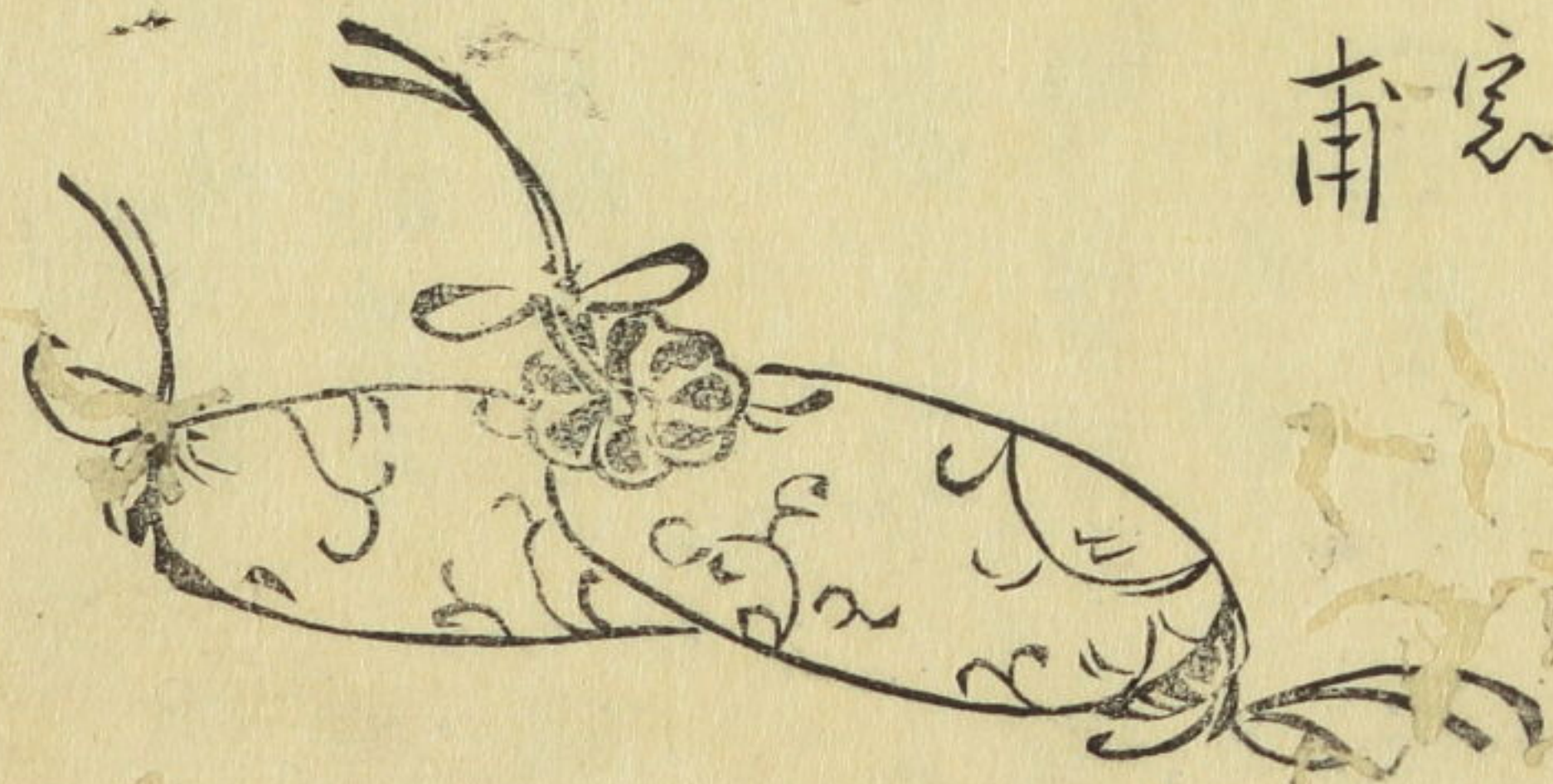
松のあは
い免乃あま

日
が

湖
嵐



紫
 女
 換
 室
 一
 南
 一
 目
 家



子
 羊
 強
 好



掛
 子
 飛
 了
 時
 錦
 下

歳旦

竹篠邑社中

青空や初日のけしき海静 弁星
まろしくけしきと葉の初道
家く小初くおとあり花の春 梅葉

春興

まろしくと雲がけおと花、此 全
あまの神がけけり雪末が 王子 磯水
柳うら物おと絡るくくが 弁星
梅咲や見き 揚ふくくくへ 磯水

哥仙一折

あま略

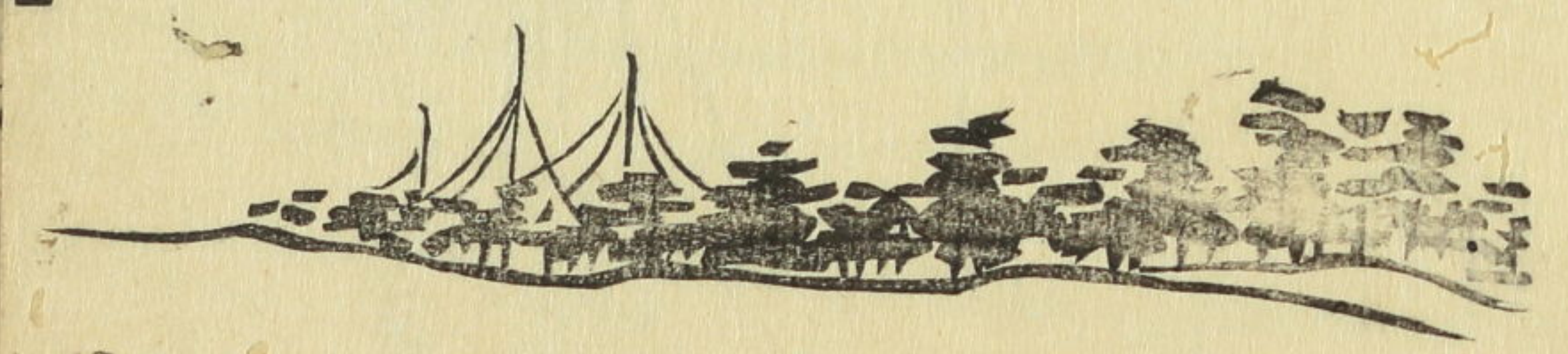
長くとたを侍あり 梅一枝 梅葉
子乃爾富くはあま子 上 初道
う性所れ 鶯うあを越て来り 全
火鹿と信あり 龍夕々れの人 全
船洗ふき乃笑ゆる月乃浪 全
鴻飛て西路くくれ多り 全
稲蒨もま後あり 雇れ人 全
海代差出す 蜂星の 全
強志以 勢ふ心や 強るら 全

夜風のぬれてはるかにあやうき
 木履うけ志賀乃山越を頼りて
 命負加のせふとくき
 月涼し来れと流る井原ル
 気色、まじり余はの夕雨
 辻きハ古三協家の元基ゆ
 一此と年付と彌の催足
 新くくま板敷の漆し花の滝
 西原の漆く安の字に在
 下略

是 全 系 全 是 全 系 全 是

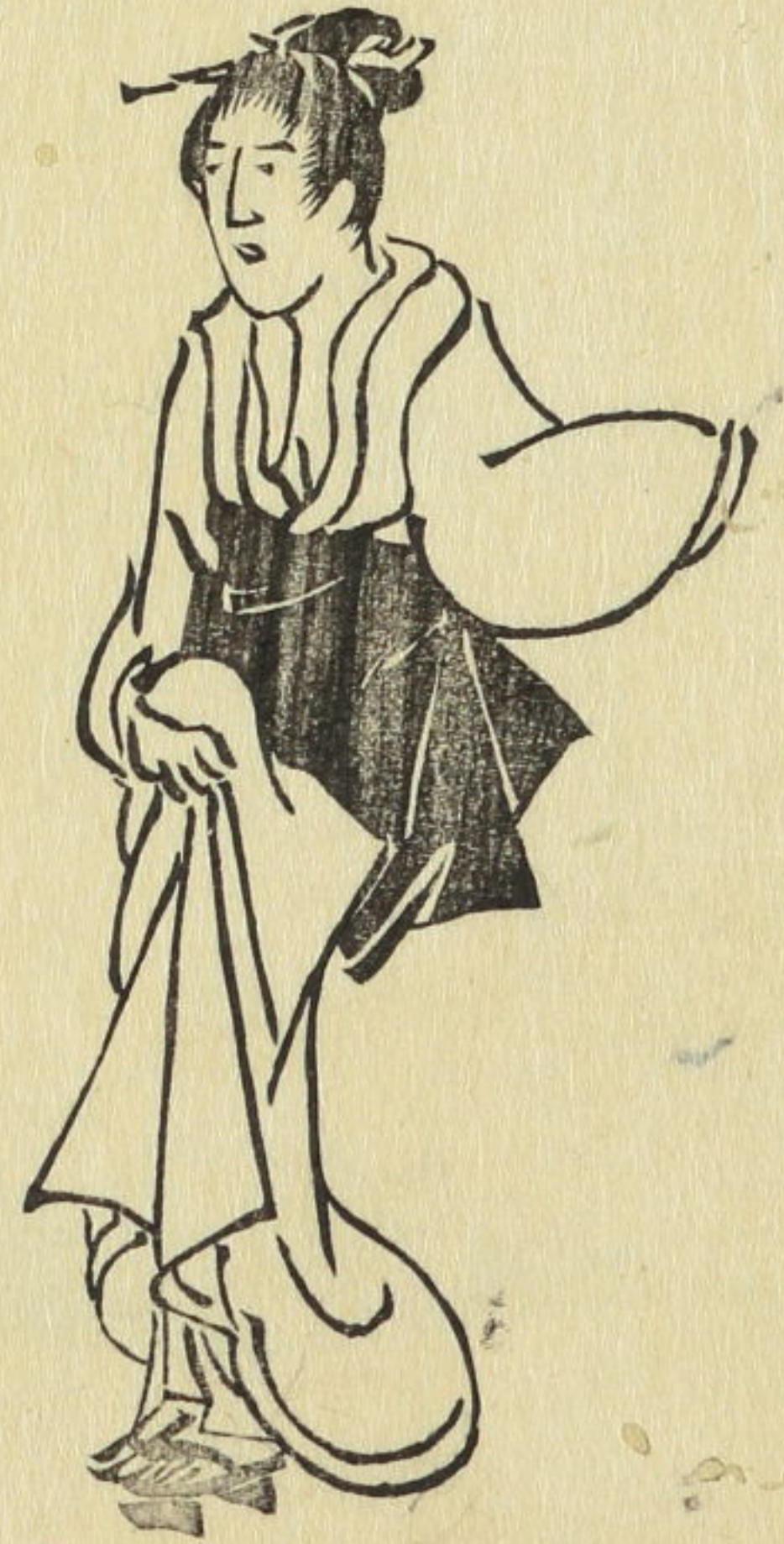
新波
 一十道
 やん免の
 風

井原



去風也

操乃糸引心し山



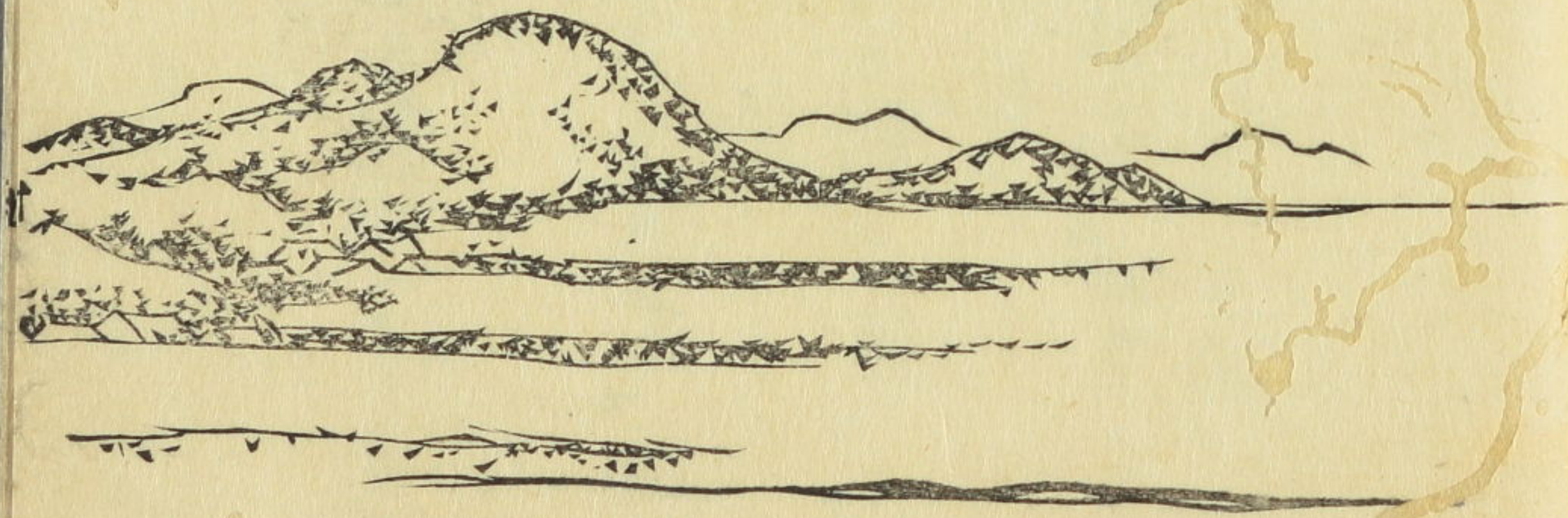
志相

妻乃四也

甲念し一丸ハ

祝遠き

初道



探題

あしき

三歳四歳つきて昭や夕雉子 未白

あま 梅

梅ちりて下は葉ふあさる夕日か 尤文

まろこ

風温しそと落こ乃ゆる朝の溝 掬水

衣更替

三月の二月ふおれに衣り夕 卜之

あ 梅

火とらせは火に凍しあのか 車輪

夜櫓

あ様小あすれ日つけの手あが 聖楊

そと

白婦とちり田ひく 入

文三音

あや山えやうかろはあろ 京 土卵

け鳥と木ハ梅の末らんめの花、定雅

あ中を踏てあ改 鳥うか、把菊

正月五日 神會

能事之まじ

かくすやうにえへま柳の落日野楊

画を粧れ、蛙、申す、未白

去矣、歩る、片、何れ、ま、和布、得、此、凌雨

ま、れ、お、も、ろ、く、云、傳、ト、之

此、日、も、木、乃、葉、萌、の、後、ま、る、左、文

つ、り、定、て、世、表、か、り、小、ま、る、花、成

赤、番、衣、を、漸、れ、る、ま、く、た、い、瑤、山

ま、る、福、多、る、亦、株、乃、め、揚

憑、宅、へ、南、此、と、教、ハ、付、讓、ま、白

四、中、よ、た、い、れ、と、扱、り、階、入、雨

あ、中、ま、き、ハ、祈、あ、て、う、う、小、既、恐、之

奇、い、起、糸、の、音、此、お、ら、ら、山

セ、川、う、ま、て、風、呂、乃、抽、入、る、朝、の、日、文

う、そ、ま、ま、り、角、あ、ま、り、成

一切の成行を脱び休ませり
 もとみ街さへ納金を違ふ
 花のうち替の世話も多のこ
 んん肌麻てぬる夫れ日中
 白 雨 揚 之

蕉門俳諧書林 京三條鼓屋町東入
 菊舎太共衛
 色市短冊 西守切并扇掛短冊掛
 矢立石刻活字紙牙古本愛蔵仕

